

令和2年度「農村工学試験研究推進会議・地域連携会議」を開催

研究推進部 研究推進室長 小出水規行

3月16日(火)、農村工学研究部門(以下、農工研)において「令和2年度農村工学試験研究会議・地域連携会議」をweb開催しました。

「農村工学試験研究推進会議」は、研究業務の波及効果を高める観点から、国、関係団体または関係する独法の協力を得て、効率的・効果的に農村振興に貢献できるよう、相互の連携・協力のあり方等に関して意見交換することを目的に開催しています。また「地域連携会議」は、農工研の研究成果の一層の現場普及と地方農政局等との情報交換や連携強化を図ることを目的に開催しています。本年度は58名の方にご出席いただきました。

会議では、農工研の藤原部門長と農村振興局整備部設計課の志村室長からの挨拶に続いて、農工研から本年度における各研究領域の主要な成果を報告しました。さらに西日本農業研究センター、九州沖縄農業研究センターおよび寒地土木研究所の農業農村工学分野の研究者から、本年度のトピック的な研究成果を紹介いただきました。

続いて、農工研の技術支援、技術研修および災害対応実績について報告しました。国際農業農林水産業研究センター、水産研究・教育機構水産技術研究所、水資源機構、日本水土総合研究所、地域環境資源センターおよび農業農村整備情報センターからは、農工研との連携に関する情勢報告と農工研への要望等について発言いただきました。北海道開発局、地方農政局および沖縄総合事務局からは農工研の開発技術を適用できる現場フィールドの情報や、農工研への要請などを紹介いただきました。中でも地方農政局からは、無機系被覆工の付着強度試験への調査協力やダグタイル铸铁管の漏水調査などの要望があり、今後の対応について意見交換を行いました。

最後に、来年度から始まる第5期中長期計画の検討状況について農工研から情報提供して総合討論を行い、技術移転部梶原部長の閉会の挨拶で幕を閉じました。総じて、行政部局、関係機関・団体から、農工研に対する貴重なご意見・ご要望をいただくことが出来るよい機会となりました。いただいた意見を参考に、引き続き現場と密に連携して行くことの重要性を確認しました。



写真 農村工学試験研究推進会議・地域連携会議の様子